

6-2 2/6時の指導計画

(1) 目 標

自分の立場や意見が相手に伝わるように、根拠を明らかにして意見文を書こうとする。

(2) 展 開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 前時の学習を振り返り、 本時の目標を確かめる。	学習計画 表 ワークシ ート①	○自分の意見を相手に伝えるためには、体験に基づくこと、本、新聞、雑誌、インターネットなどを利用して調べたこと、人に聞いたり、調査、観察、実験などを行ったりしたことなどを根拠にするとよいことを思い出させる。 ○本時の目標を斉読によって確認させる。	
自分の立場や意見が相手に伝わるように、根拠を明らかにして意見文を書こう				
展 開	2 「紙の辞書と電子辞書では、紙の辞書を使う方がよい」のテーマについて考え、意見の持ち方を学ぶ。 〔手順〕 1) 賛成の立場で書かれた意見文A～Cを読み比べて、最も納得できるものを選ぶ。賛成の根拠を挙げる。 2) 文章に即して具体的な理由を考えて書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">①双括弧で書かれていて立場が明確である。 ②根拠が「第一に」「第二に」という言葉を使って分かりやすく説明されている。 ③根拠が、本質的なことから物質的なことの順に書かれている。 など</div>	ワークシ ート②	◆電子黒板にテーマを提示し、意識付けをさせる。 ○紙の辞書を使う方がよいという立場で考えさせる。 ○前時の学習内容を想起しながら判断するように促す。 ◆前時にまとめた「相手を納得させる文章」の条件を教材提示装置で投影する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「相手を納得させる文章」の条件 1 意見や立場が明確である。 2 根拠を具体的に示す。 3 構成や展開を分かりやすくする。 4 反論に対する意見を述べて主張を補強する。 5 相手の心情を推し量って内容や表現を工夫する。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【関①】自分の立場や意見が相手に伝わるように、根拠を明らかにして意見文を書こうとしている。【観察】 【ワークシート②】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">自分の立場や意見を決めるために根拠を列挙し、その中から自分の意見を支える根拠を選び、反論を考えるなどして意見文を書こうとしている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ペアやグループで学習に取り組みさせて考えを促し自分で意見文を書こうという意欲をもたせる。</div>

展 開	<p>3) 賛成の根拠を挙げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き込みができる。</li> <li>・付箋を貼ることができる。</li> <li>・複数の意味がある言葉も一目で見渡すことができる。</li> <li>・電子辞書より値段が安い。 など</li> </ul> </div> <p>4) 根拠の種類を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>根拠の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験 ・事実</li> <li>・資料の引用</li> <li>・データ(調査, 観察, 実験などの結果) など</li> </ul> </div> <p>5) 賛成の根拠を吟味し, 自分の意見を支える根拠として説得力のある根拠を選ぶ。</p> <p>6) 予想される反論について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子辞書は持ち運びに便利で, いつで言葉を調べることができるのでよい。</li> <li>・いくつかの辞書を比較することができるのでよい。 など</li> </ul> </div> <p>7) 反論に対する意見を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電池が切れる。</li> <li>・落下などの衝撃に弱い。</li> <li>・高価である。 など</li> </ul> </div>		<p>◇根拠が思い付かない生徒には, 隣の人や, グループで相談させる。</p> <p>○体験に基づくこと, 本, 新聞, 雑誌, インターネットなどを利用して調べたこと, 人に聞いたり, 調査, 観察, 実験などを行ったりしたことなどに分類し, より説得力のあるものを取捨選択させる。</p> <p>◆電子黒板に紙の辞書のよい点と問題点, 電子辞書のよい点と問題点を提示し, 比較して考えやすいようにする。</p> <p>○意見を述べる場合, 反論を想定することで, 自分の意見をより明確にすることができることを理解させる。</p>	
まとめ	<p>3 学習計画表の「振り返り」の欄に色を塗り, 「学んだこと・感想」を書く。また, 次時の「目標」を確かめ, 見通しをもつ。</p>	学習計画表	<p>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るように促す。</p> <p>○板書を参考にして学んだことを書かせる。</p> <p>○次時は, 「中学生に制服は必要だ」というテーマについて根拠を列举し, 論理の展開の型に従って書くこと確認する。</p>	